

社会科学習指導案(視聴覚)

横浜市立西寺尾小学校

授業者 宮本 英彦

1. 日時 平成27年1月28日(水)
2. 学年・組 第6学年1組 27名
3. 単元名 世界の中の日本「世界は」～世界と結びつく日本～
4. 単元設定について

子どもの実態

本学級の児童は、課題の解決に向かって落ち着いて取り組むことができると感じる。一方で、問題解決のために資料を集め、それを整理したりまとめたりすることを苦手とする子も多い。また、調べた事柄を関連付けたり比較したりして、自分の考えを表現することも難しいと感じている

課題解決の資料を集める際、書籍の他にインターネットを使うことが不可欠と児童は感じているようである。しかし、多量な情報の中からどのように情報を選べばよいのか、正確な情報なのかとインターネットを使って調べることへの疑問を持つ子も数人であるがいる。

教師の願い

本単元では、世界の中の日本の役割について、日本とつながりと深い国々を調べていく。その中で、世界にはさまざまな暮らしがあること、異なる文化や習慣を互いに理解し合うことが大切であることをとらえさせたい。

本単元では、自分の興味のもった国について調べ、その国の暮らしや文化、日本との関わりなどについてまとめる活動を中心に行う。国について調べたりまとめたりする際に、インターネットやパソコンなどの視聴覚機器を使いながら、自分の考えを深められるようにしたい。また、インターネットでどのように情報を集めるかなど、情報との付き合い方についても考えられるようにしたい。

5. 単元目標

世界の中の日本の役割について、我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子を調査したり、資料などを活用したりして調べ、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを考えるようにする。

6. 評価規準

社会的事象への、 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
・我が国との経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子や我が国の国際交流や国際協力の様子に関心を持ち、意欲的に調べる。	・我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子について学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ・文化や習慣を比較したり、国際交流を関連づけていたりして、異なる文化や習慣を理解し合うことや、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えて、適切に表現している。	・我が国とつながりの深い国の文化や習慣などを、教科書や地図帳、各種の基礎的資料を用いて調べ、読み取っている。 ・調べたことを、模造紙、白地図、パソコンなどにまとめている。	・我が国と多くの国が経済や文化などの面で結びついていることを理解し、その国の生活の様子を理解している。 ・世界の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことを理解している。

7. 区研究テーマに迫るための手だて

「情報・視聴覚教材・機器に親しみ、互いに伝えあい、高め合いながら学ぶ子の育成」
～言語活動の充実の手立てとしての情報・視聴覚機器の活用～

「世界と結びつく日本」を調べていく過程の中で、まずは自分が知っている情報や身近な情報源(教科書、資料集、地図帳など)から分かることを読み取り、さらに自分が調べたい内容をインターネットや書籍などの様々な情報源から調べることで、多様な情報の中から必要な情報を選ぶ力を高めたい。

グループ学習を進める中で、それぞれのテーマにそって調べたこと伝えあい、グループの内容が深め合えるようにする。また、それぞれのグループ調べた内容を関連付けて考え、日本と外国の国々は様々な面でつながっていることを理解できるようにしたい。

調べた内容を、「世界の国々、発表しまSHOW!」という番組風にまとめる。簡単に、分かりやすく伝えるためには、どのようにまとめればよいのか考えさせていく。また、それを伝える手段として視聴覚機器をどのように扱えばよいのかも考える。まとめて発表することの楽しさを児童が味わえるようにしたい。

8. 単元構成

時数	□学習活動	○指導上の留意点 ☆評価
1	日本とつながりが深い国とはどんな国だろう。 □教科書や写真から考えられることを考える。 □児童の知っている歴史・文化・スポーツ・観光・貿易・政治などの面から日本と特に深いつながりについて考える。	○テレビに、日本と結びつきの強い国を例として紹介する。 ○児童が発言した国は、どの分野で日本とつながりが強いのか確認する。

	(例 中華人民共和国、アメリカ合衆国、ブラジル連邦共和国、サウジアラビア王国) □自分が調べたい国についてまとめる。	☆我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子について学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
2	みんなの調べたい国の中から、6－1で協力して調べる国を決めよう。 □それぞれが調べたい国について話し合う。日本と調べたい国が、どのようなつながりをもっているのかその根拠を話し合う。 □話し合ったことから、6－1で調べる国を決定し、国ごとのグループを作る。 □これからどのような手段で、調べていくのか見通しをもつ。	○前回の学習から、自分の調べたい国について根拠をもって発言できるように支援する。 ・前回調べたいと挙げた国の写真 ・それぞれの国の代表的な輸出入の品物 ・旅行ガイド などを使って、それぞれの国についての根拠をもてるようにする。 ☆我が国との経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子や我が国の国際交流や国際協力の様子に関心を持ち、意欲的に調べる。
3	どのような資料を使って、それぞれの国について調べるのか。また、資料の扱いをどのようにすればよいだろうか。 □本を使って資料を集める際、何に気をつけて資料を集めるか考える。 □インターネットを使う際に、どんなことに気を付けて資料を集めていくのか。	○これまでに学習した調べ方やマナーについて確認する。 ○インターネットの使い方やメリット・デメリットについてルールを確認する。
4 5	グループごとにそれぞれの国について調べる。 □日本との結びつきを考えながら、日本との共通点・相違点・特徴などを調べる。 □歴史、貿易、文化など、自分がどのような分野を調べるのか明らかにして活動を進める。	○インターネットだけでなく、教科書、資料集、地図帳、ガイド本などの様々な資料を使って、必要な情報を集める。 ☆我が国とつながりの深い国の文化や習慣などを、教科書や地図帳、各種の基礎的資料を用いて調べ、読み取っている。
6 7 本時	調べたことをまとめよう。 □自分たちが伝えたい内容を整理し、誰もが分かりやすい発表方法、内容を考える。	○写真やグラフをパソコンで整理したり、自分のまとめたグラフを書画カメラで拡大したりするなど、調べたことを分かりやすく伝える方法を例示する。 ☆文化や習慣を比較したり、国際交流に関連づけてりして、異なる文化や習慣を理解し合うことや、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えて、適切に表現している。
	調べたことを発表しよう。	○グループでそれぞれが調べた分野について、視聴

8	☐ まとめたことのリハーサルを行い、より分かりやすい発表になるように工夫する。	覚機器を使って、分かりやすく説明する。
9	☐ 調べたことや感想をグループごとに発表する。 ☐ 調べた内容について、感想を伝えあう。	☆我が国と多くの国が経済や文化などの面で結びついていることを理解し、その国の生活の様子を理解している。

9. 本時について

①本時目標

日本とつながりが深い国について、表したい方法を考えてまとめている。

②本時展開

活動内容	○教師の支援 ☆評価
1 本時の学習課題を確認する。 「世界の国々、発表しまSHOW!」に向けて、内容を見直そう。 2 前時までにまとめたことを見直す。 ・資料のまとめ方、使い方は発表に合っているか。 ・調べた内容から考えているか。 (日本とつなげて考えているか。) 3 見直しをもとに、まとめ方を推敲する。 ・説明の文章が多すぎるから、図を使って簡単に表そう。 ・違う写真を選んだほうが、伝えたいことに合っている。 ・音楽や音を使って説明してみたい。 ・動画を使ったほうが、分かりやすくなりそうだ。 4 次回の活動の見通しをもつ ・発表のリハーサルを行い、発表の内容や順番を確認する。	○パソコン、書画カメラ、デジカメなど、それぞれのグループが使う機器をすぐに使えるように準備する。 ○前時に確認した、まとめ方の基本をおさらいする。 ○自分の伝えたい情報を、どの発表方法を使えば相手に分かりやすくなるのか助言する。 ○視聴覚機器の使い方、情報のまとめ方について机間指導をする ☆文化や習慣を比較したり、国際交流を関連づけたりして、異なる文化や習慣を理解し合うことや、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えて、適切に表現している。